

令和5年度大学コンソーシアムやまがた臨時総会議事録

日時	令和6年3月18日(月) 13:50~14:25		
場所	山形大学事務局棟 第二会議室及びZoomによるWeb会議		
出席者	鶴岡工業高等専門学校	:	太田 道也 校長
	電動モビリティシステム専門職大学	:	清水 浩 学長 →代理:小関 俊宏 事務局長
	東北芸術工科大学	:	若林 宏 幹事会副委員長/理事・事務局長
	東北公益文科大学	:	神田 直弥 副会長/学長
	東北文教大学/東北文教大学 短期大学部	:	須賀 一好 副会長/学長
	山形県立産業技術短期大学校	:	佐藤 俊一 校長
	山形県立農林大学校	:	菊地 繁美 校長
	山形県立米沢栄養大学		
	山形県立米沢女子短期大学	:	阿部 宏慈 監事/学長
	〃	:	渡辺 博幸 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形県	:	五十嵐 裕彦 事業評価委員会委員長/ 総務部高等教育政策・ 学事文書課高等教育政策主幹
	山形大学	:	玉手 英利 会長/学長
	〃	:	出口 毅 幹事会委員長/理事・副学長
欠席者	羽陽学園短期大学	:	渡邊 洋一 学長
	東北芸術工科大学 短期大学部	:	中山 ダイスケ 副会長/学長 大桃 伸一 幹事会副委員長/副学長
	放送大学山形学習センター	:	安田 弘法 所長
	山形県立保健医療大学	:	上月 正博 副会長/学長
	〃	:	熊谷 岳郎 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形工科短期大学校	:	小幡 知之 学校長
	山形県	:	松澤 勝志 監事/総務部長
	山形大学	:	栗山 恭直 企画会議委員長/教授
陪席者	山形県	:	佐藤 祥子 総務部高等教育政策・学事文書課 高等教育政策担主事
	山形大学	:	柿崎 悦子 男女共同参画推進室准教授
	〃	:	小山 和佳 学長付主幹専門員
	〃	:	樋口 浩朗 総務部長付上席専門員兼総務部総務課 社会共創推進事務室長
	〃	:	岡崎 勇樹 総務部総務課社会共創推進事務室主任
事務局		:	今野 浩美、羽角 扶美

会議に先立ち、会長から、今年度の総会後に新たに委員になった2人の委員の紹介があった。

[報告事項]

1 ダイバーシティ推進ネットワーク会議について

事務局から、資料1に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・ ダイバーシティ推進ネットワーク会議については、平成30年4月1日に3年間の期限付きで設置され、令和3年4月1日に3年間の延長を行い、令和6年3月31日までとなっている。
- ・ 本年1月にダイバーシティ推進ネットワーク会議において、今後も更に継続して活動が必要であることの確認を行い、2月に開催の幹事会において、資料1のとおり、3年間の設置期間の延長が承認された旨報告があった。

[協議事項]

1 役員の選出について

会長から、監事の山形県小林委員の転出により、監事が1人欠員となっていることから、補欠として、山形県松澤委員の推薦があった。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

2 第4期大学コンソーシアムやまがた事業計画（案）の策定について

山形大学総務部社会共創推進事務室樋上席専門員から、以下のような説明があった。

- ・ 令和5年6月28日開催の定期総会において、やまがた社会共創プラットフォーム（以下「やまぶら」という。）と大学コンソーシアムやまがた（以下「コンソーシアム」という。）の整理について、資料2-1の「②中間案」に基づき、コンソーシアムの事業評価委員会で検討することが承認された。
- ・ 事業評価委員会において、3回にわたり審議を行い、資料2-2の第4期大学コンソーシアムやまがた事業計画案を作成し、コンソーシアムをやまぶらの一部門とする案を作成した。
- ・ その後、やまぶらの戦略会議及び役員会において審議の結果、コンソーシアムをやまぶらの一部門とすることが了承された。
- ・ 事業計画の推移については、資料2-3のとおり整理した。令和5年度の事業計画を踏襲しているが、共同教育事業、やまぶら初期戦略に貢献する事業の2つの新規事業を行うこととしている。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

3 大学コンソーシアムやまがた会則の一部改正について

山形大学総務部社会共創推進事務室樋口上席専門員から以下のような説明があった。

- ・ 協議事項1において、承認いただいたコンソーシアムをやまぶらの一部門とすることについて、会則の第1条、第3条及び第4条を一部改正する旨説明があった。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

4 令和5年度事業報告（案）及び収支決算見込額（案）について

事務局から、令和5年度事業報告（案）について、資料4に基づき詳細な報告があった。

引き続き事務局から、収支補正予算並びに収支決算見込額（案）について、資料5に基づき以下のとおり説明があった。

(収入について)

- ・ 預金利息分2円のみ補正を行い、決算見込額を5,717,833円とした。

(支出について)

- ・ 「地域貢献・活性化事業」については、学生による地域貢献・活性化プロジェクトの採択予定が3件のところ1件、やまがた夜話の実施回数が、6回予定のところ3回のため執行残が生じた。
- ・ 「連携事業」については、単位互換に伴う交通費の支出が少なく執行残が生じた。
- ・ 「教職員の交流連携事業」については、増額補正となった。
- ・ 「広報事業」については、増額補正となった。
- ・ 「大学コンソーシアムやまがた運営費」については、共通経費の削減により執行残が生じた。

以上、収入決算見込額5,717,833円から支出決算見込額の3,935,597円を差引いた1,782,236円が、現時点における令和6年度への繰越額となる見込みである。

なお、本件については、次年度の定期総会で説明することとなる。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

## 5 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

事務局から、令和6年度事業計画（案）については、やまぷら、コンソの組織改編を踏まえ、新たに策定した「第4期事業計画」に基づき事業を展開する旨、資料6に基づき説明があった。

引き続き事務局から、収支予算（案）について、以下のとおり説明があった。

(収入について)

- ・ 資料7-1の収支予算書（案）の機関負担金（会費）収入については、昨年6月に開催の定期総会において資料7（参考）のとおり承認されているが、令和5年度からの繰越金について、1,782,236円が見込まれるため、資料7-2のとおり、機関負担金を減額する修正案を作成した。
- ・ 減額については、機関負担金の負担金対象者数1人あたりの単価を211.5円から170円に引き下げることとし、併せて、収容定員の変更を反映させ、507,417円減額の3,993,710円とする。
- ・ 上記の機関負担金収入及び繰越金、雑収入29円を見込んだ合計5,775,975円を収入予算額とする。
- ・ 令和6年度に新設される東北農林専門職大学において、コンソへの加入を検討しており、加入依頼があった場合は幹事会で審議の後、機関負担金について総会で審議いただく。

(支出について)

- ・ 支出について、事業毎の予算は、令和5年度の当初予算を基に計上している。
  - ・ 新規事業の「共同教育事業」は、ニーズ調査等の経費として50,000円、やまぷら初期戦略に貢献する事業については、300,000円を計上している。
  - ・ 機関負担金収入及び繰越金、雑収入29円を見込んだ5,775,975円を支出予算額とした。収入予算5,775,975円から支出見込額4,755,000円引いた1,020,975円を予備費とした。本件については、次年度の定期総会で説明することとなる。
- 次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

[その他]

### 1 その他

特になし。

資料

- 番号なし 総会委員及び役員名簿
- 資料1 ダイバーシティ推進ネットワーク会議規程
- 資料2-1 「やまがた社会共創プラットフォーム」と「大学コンソーシアムやまがた」の整理について
- 資料2-2 第4期 大学コンソーシアムやまがた事業計画（案）の策定について
- 資料2-3 大学コンソーシアムやまがた 事業計画の推移
- 資料3 大学コンソーシアムやまがた会則の一部改正（案）
- 資料4 令和5年度 大学コンソーシアムやまがた事業報告書（案）
- 資料5 令和5年度 大学コンソーシアムやまがた補正予算並びに収支決算見込額（案）（令和6年2月1日現在）
- 資料6 令和6年度 大学コンソーシアムやまがた事業計画書（案）
- 資料7-1 令和6年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）
- 資料7-2 令和6年度 機関負担金（会費）（修正案）
- 資料7（参考） 令和6年度 機関負担金（会費）（令和5年度定期総会承認）

議事録署名人

会長／山形大学長

五手英利